

これからも地域医療の充実に貢献していきます

理事長 貞方 洋子

平成27年度（2015年）の病院概要と一年間の患者統計など、病院業績及び職員の研究業績がまとまりましたので、「南風病院 平成27年度年報」として皆さまにお届け致します。ことしも多くの医療機関から沢山の患者さんをご紹介していただきました。本当にありがとうございました。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年度は、平成30年（2018年）に予定されている第7期医療計画（病床機能の再編等）を見据え、“急性期病院として高度で質の高い医療のできる病院となる”を年次スローガンとして、様々な取り組みを進めて参りました。東館を建築してロボット手術を導入したのも新医療技術導入の一環です。又、外来の再来患者さんはできるだけ地域の診療所に逆紹介し、南風病院としては急性期病院としてふさわしい重症度の高い患者さんの受け入れ体制の整備にも努めて参りました。

平成28年度（2016年）が始まってすでに上半期が経過しました。この5月には手狭だった救急室を移設して処置室を拡充し、救急患者の受け入れ体制を整備しました。又、在宅医療支援の一環として緊急時の受け入れ体制も強化しました。今後は平成37年（2025年）を目標年次とする地域包括ケアシステムの仕組み作りのために、南風病院としても地域の開業医の先生方とのより密接な連携が必要になって参ります。

これからも皆さまが安心して患者さんをご紹介していただけるよう、職員一同、いま以上に研鑽を積み、病々・病診連携を図りながら、これからも地域医療支援病院として、地域医療の充実に貢献していきたいと考えています。引き続きのご支援とご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



Nanpuh Hospital